

健口ニュース

糖尿病の第6の合併症… 歯周病

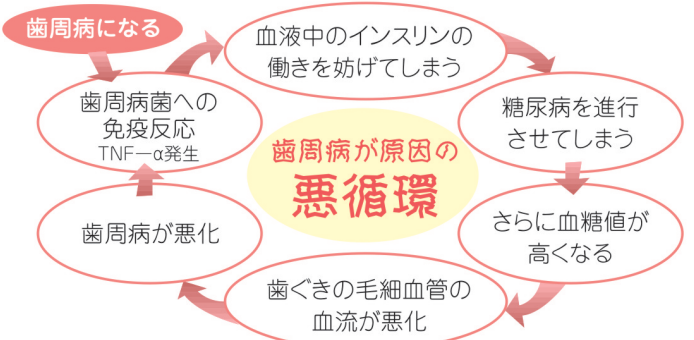
平成19年の国民健康・栄養調査によると、「糖尿病が強く疑われる人」の890万人と「糖尿病の可能性を否定できない人」の1,320万人を合わせると、全国に2,210万人いると推定されています。

糖尿病の大きな問題に合併症があります。糖尿病の3大合併症として、網膜症、腎症、神経障害。そして心疾患、脳卒中と続き、次にあたる6番目の合併症が歯周病です。



近年の研究で、歯周病は糖尿病を悪化させること、さらに糖尿病が悪化すると歯周病も悪化させてしまうといった相互に影響することが分かってきました。

歯周病になると歯周病菌への免疫反応によってTNF-αと呼ばれる物質が発生します。この物質には血液中のインスリンの働きを妨げてしまう作用があり、糖尿病を進行させてしまうことがあります。そして、糖尿病が進行すると血糖値が高くなり、歯ぐきの毛細血管の血流が悪化、歯周病が悪化するといった悪循環に陥ります。



このことから歯周病の治療と予防は糖尿病の予防・改善につながると言えます。

歯周病は糖尿病以外にも、心臓血管病、肺炎、骨粗しょう症、低体重児出産・早産などにも影響を及ぼすことが分かってきました。定期的な健診で歯周病を予防しましょう。

ご存じですか? 入れ歯の噛む力

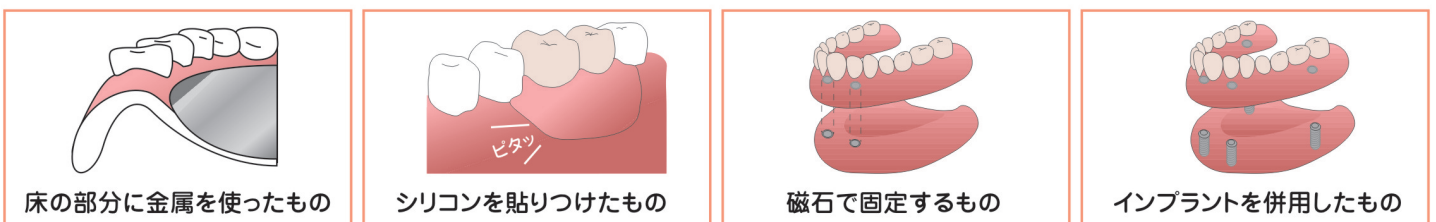


左のイラストのようになるのは、入れ歯が天然の歯に比べて噛む力が低下するからです。そのため食べ物を噛み砕く時間も長くなります。入れ歯の噛む力は天然の歯に比べると…

●部分入れ歯で
50~65%くらい

●総入れ歯で
25~30%くらい

このような悩みを改善するために様々な入れ歯があります。



いずれも保険適用外ですが、もっと食事を快適にしたい!という方は一度考えてみてはいかがでしょうか。しっかり噛んで食事することは、胃腸の負担が減り消化吸収が良くなり、脳の活性化にもつながります。